

(3) 平成 30 年度 北海道算数数学教育会 高等学校部会 活動方針・研究主題

ア) 平成 30 年度高等学校部会活動方針

北海道算数数学教育会並びに北海道算数数学教育会高等学校部会設立の趣旨に基づき、北海道における高等学校数学教育の一層の発展を目指し、以下の要領で活動するものとする。

- ①第 73 回札幌大会の準備に万全を期すとともに、その運営については、会員が満足できよう最大限の努力を傾注する。
- ②高等学校部会所属研究会の日常的・精力的な取り組みを重視し、予算的な処置を含めて積極的に支援する。
- ③全道各地での数学に関する研究活動について、研究助成・発表する場を設けるなど、会員の数学及び数学教育研究活動を積極的に支援する。
- ④全道各地の各種数学研究会と一層連携し、会員及び研究内容の拡充・充実を図り、北数教支部活動の基盤整備を目指す。
- ⑤高等学校部会研究協議会・研究部研究協議会・研究主題協議会・全体研究協議会の効率的な運営に努める。
- ⑥高等学校部会の運営にあたっては、統括本部との連絡を密にし、小・中・高の三校種で連携のとれた活動ができるよう努める。

イ) 平成 30 年度高等学校部会活動方針の要点

- ①第 73 回札幌大会において、講習会を実施し、講習会参加料 1 人 500 円を徴収する。
- ②高等学校部会所属研究会の日常的な活動の広報については、高校部会事務局名で各研究会が全道の学校代表メールに発信する。また、高等学校部会研究部ホームページ「数学のいずみ」は、平成16年 3 月に第 4 回インターネット活用実践コンクールで学校教育部門の文部科学大臣賞を受賞したことで分かるように、その内容の豊かさが高く評価されている。インターネットの活用については、今年度も引き続き北数教高等学校部会の宣伝等で利用していく。
- ③支部活動助成費 5 万円を計上して、全道各地の数学に関する研究活動を補助する制度を設けているが、今年度も同様に活用を働きかける。
- ④経費負担軽減のため、5 月の全道発送を除き、通信連絡は電子メールで配信する。また、若干でも統括本部に経費を負担してもらえようように事務局として要望していく。
- ⑤会員に対する広報活動や会員の意見・要望に柔軟に対応できる体制をつくる。
- ⑥到達目標や対象とする生徒集団の違い、数学教員の定数などの環境の違いなどもあり、統一した考え方で研究会を行うことは非常に困難ではあるが、全国的に見ても貴重な小中高の三校種が協力して活動することの意義を重視し、今後も連携のとれた活動ができるように努力していく。

高等学校部会研究主題

「社会に生きる数学教育の理論的・実践的研究」

～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を目指して～